



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2022年06月06日 第1071号「週刊五十嵐レポート」

仕事って、楽しいんですね

5月23日～27日日経新聞「人間発見/人事部は魔法使い」はカルビー常務執行役員の武田雅子氏。彼女は短大中退後クレジット会社に入社、店長として女性スタッフらの力を引き出して実績を上げ、後に人事部取締役として社員が前向きに働ける制度と環境を整える。50代で転職し、現職に就く。

武田氏は、リーダーたちに「全員活躍」する組織というキーワードを示す。「活躍」とは横並びで競争して勝つことではなく、全員が自分の強みや資質を生かし、チームに貢献して認められる喜びを味わうこと。他人と比べてどうかではなく、自分の中で最も自信のある部分で仕事をしてほしい、部下にもさせてほしい。

人は皆、違う生き立ちを持っていて、得意なことが必ずある。逆に優秀なリーダーも限界や不得意なことがある。ならば競争するのではなく、互いに得意な部分を生かせばいい。会社が伸びるにはこれしかない。

業績が悪い店を立て直すとき、前任者は数字しか見ない人だった。一人ひとりの強みを最大限に生かし取引先のためになることはその人のやり方でやってもらう。一人の部下が「仕事って楽しいですね」と言った。「楽しいに決まっているじゃん」と答えた。

ある小さな会社の話。業績不振の会社を後継者は建て直すことになった。業績の悪い部署を見ると、リーダーが自分の役目を理解していなかった。リーダーは自分の得意不得意で業務が偏っていた。そこで後継者は全体を理解したうえで、リーダーに正しい役目を伝え、不得意な所は得意な部下に任せることにした。徐々に改善の兆しが見えてきた。

小さな会社の経営資源は限られている。特に人材。ダメな所を数えるより、出来る所を数える。ちょっとでも光る所があれば、見つけ、それを伸ばす。地道な努力を要する。これが出来そうで出来ない。

武田氏は最後にこう締めた。「私の信条は性善説。人を信じずにはいられない」。強い信念と忍耐力。それが自分を含め周りを成長させていく。

ちょっと
気になる出来事

5月7日、米電気自動車大手テスラのイーロン・マスクCEOはツイートで、日本の昨年の総人口が記録的な落ち込みになったことで、「明らかかなことを言うが、出生率が死亡率を超えるために何かを変えない限り、日本はいずれ存在しなくなる。これは世界にとって大きな損失になるだろう」と警告。

4月16日付日経新聞、「人口過去最大64万人減」「生産年齢人口最低59%」。昨年10月1日現在の人口推計を発表、総人口は1億2550万人で11年連続減少。

6月4日付日経新聞、「出生率6年連続低下」「昨年1.30、最低に迫る」。厚生労働省は1人の女性が生涯に産む子供の数を示す合計特殊出生率が2021年1.30だったと発表。出生動向調査によると、「結婚せず仕事を続ける」「結婚しても子供を持たず仕事を続ける」を合わせると25%占める。未婚女性の4人に1人が「出産する人生を想像できない」と考えている。

このままいけば、日本は存在しなくなるのだろうか？

政府は20年前から低出生率を解消すべく政策を掲げてきたが、結果は思わしくない。デフレ、低生産性、低賃金等が関係しているのか。最後は移民受け入れ政策なのか。



一口メモ
知識

時中(じちゅう)

「時中」とは時に中(あた)る。時の的を射ることをいう。

「中」は中庸(ちゅうよう)の中である。ここでいう「時」とは時間だけでなく、空間、環境も包含している。春に為を蒔くように、最も適切な当たり前の行動・対処をすることが大切なのである。

とはいえ、混迷した時に何が最も適切かを判断するのは至難の業である。常に変化する時の的を鋭く射ることは容易ではない。しかし、どんな時でも、必ず「時中」がある。それを見極め、時に趣く一この精神が易経の本懐である。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

榊五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

